

立川市第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画  
PDCAサイクル評価・改善管理シート

(令和6年度分)

成果目標 1		福祉施設の入所者の地域生活への移行																																																					
計画 ↓ 実施	目標値	<p>①令和8年度末までの地域生活移行者数 <u>8人</u> ②令和8年度末時点での施設入所者数 <u>117人</u></p> <p>【目標達成のための方策】 施設入所者の地域生活移行に関する意思を尊重し、適切に意思決定支援を行うとともに、地域移行及び地域生活の継続のための支援を担う関係者・機関等の連携により地域移行の取組を進めていきます。 また、重度障害者や強度行動障害の方などの地域移行を進めるため、ニーズに合致したグループホームの設置の促進、日中活動の場やホームヘルパーの確保等、環境の整備にも取り組んでいきます。</p> <p>実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①地域生活移行者数※</td> <td>0人</td> <td>0</td> <td>1人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②施設入所者数</td> <td>117人</td> <td>121人</td> <td>107人</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和4年度末時点の施設入所者のうちで、地域生活に移行した者の数</p>					項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	①地域生活移行者数※	0人	0	1人			②施設入所者数	117人	121人	107人																																	
	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度																																																	
①地域生活移行者数※	0人	0	1人																																																				
②施設入所者数	117人	121人	107人																																																				
主な活動指標	<p>○活動指標等の一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">活動指標</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①地域移行支援利用者数 (月平均)</td> <td>見込</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>3.3人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②地域定着支援利用者数 (月平均)</td> <td>見込</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>2.7人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③共同生活援助(グループホーム)利用者数(年度末月)</td> <td>見込</td> <td>260人 (重度65人)</td> <td>265人 (重度66人)</td> <td>270人 (重度67人)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>299人 (重度84人)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④市内グループホーム設置数(年度末)</td> <td>見込</td> <td>44か所</td> <td>45か所</td> <td>46か所</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>46か所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑤重度障害者に対応する市内グループホームの新規設置数(年度末)</td> <td>見込</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1か所</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					活動指標		令和6年度	令和7年度	令和8年度	①地域移行支援利用者数 (月平均)	見込	2人	2人	2人	実績	3.3人			②地域定着支援利用者数 (月平均)	見込	1人	1人	1人	実績	2.7人			③共同生活援助(グループホーム)利用者数(年度末月)	見込	260人 (重度65人)	265人 (重度66人)	270人 (重度67人)	実績	299人 (重度84人)			④市内グループホーム設置数(年度末)	見込	44か所	45か所	46か所	実績	46か所			⑤重度障害者に対応する市内グループホームの新規設置数(年度末)	見込	—	—	1か所	実績	—		
活動指標		令和6年度	令和7年度	令和8年度																																																			
①地域移行支援利用者数 (月平均)	見込	2人	2人	2人																																																			
	実績	3.3人																																																					
②地域定着支援利用者数 (月平均)	見込	1人	1人	1人																																																			
	実績	2.7人																																																					
③共同生活援助(グループホーム)利用者数(年度末月)	見込	260人 (重度65人)	265人 (重度66人)	270人 (重度67人)																																																			
	実績	299人 (重度84人)																																																					
④市内グループホーム設置数(年度末)	見込	44か所	45か所	46か所																																																			
	実績	46か所																																																					
⑤重度障害者に対応する市内グループホームの新規設置数(年度末)	見込	—	—	1か所																																																			
	実績	—																																																					
評価	<p>障害の重度化・多様化、家族の高齢化、家庭内の生活環境の変化など様々な要因により、施設入所へのニーズがあることは事実ですが、地域共生社会の実現に向けて、地域移行促進への取り組みは重要な課題です。 また、施設からの地域移行促進に必要な資源を充実させるため、重度障害者や強度行動障害の方を受け入れるグループホームや、生活介護などの日中活動場所の新規開設を計画する民間事業者に対しては、優先的に開設事前相談を受け付けるなどのインセンテ</p>																																																						

	<p>イブを与える等の民間事業者への働きかけを行っていますが、新規開設するまでには至っておりません。</p> <p>今後も引き続き、障害支援区分の認定調査時等を利用し、施設などに地域移行促進への理解を深めてもらい、地域移行を担う関係者・関係機関のネットワークづくりを継続するとともに、地域移行に対する障害者本人の意思を尊重し、それと同時に家族の理解も得ていく取り組みを一步一步着実に進める必要があります。</p>
障害者施策推進委員会意見	<p>重度の方を受け入れてくれるグループホームの整備など、地域で住み続けられる社会資源を整備できているかどうか、地域移行を進める上で大きな課題となってくる。また、地域移行を進めるため、年代ごとに必要なサービスを考え、ニーズを満たしていただきたい。</p>
自立支援協議会意見	<p>福祉施設に入所している重度障害者は、自宅と施設での生活しか経験していないことが多いため、地域資源の充実も大切ではあるが、まず地域生活の体験を行うことがより重要である。また、地域移行の意思決定プロセスに重度障害者本人が関わることの困難さが考えられるため、意思決定支援の充実にも取り組んでもらいたい。</p>
改善策	<p>重度障害者や強度行動障害の方、医療的ケアが必要な方を受け入れるグループホームや生活介護などは、生活の場や日中活動場所は地域移行促進に必要不可欠な資源です。</p> <p>市内での新規開設を計画する民間事業者に対しては、市が必要としている受け入れ対象についての説明と要望を継続して行います。</p> <p>また、障害支援区分認定調査や施設訪問等のアウトリーチを活用した地域移行のニーズの掘り起こしを継続するとともに、地域移行支援事業者と連携を図ります。</p> <p>本人の意向に寄り添いながら、家族の意向等も丁寧に確認したうえで、地域移行実現に向けた歩みが着実に進められるよう、支援を進めます。</p>

# 立川市第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画

## PDCAサイクル評価・改善管理シート

(令和6年度分)

成果目標 2		精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築																																																																						
計画 ↓ 実施	目標値	<p>①令和8年度末までに精神障害支援者の人材育成や関係者間のネットワークの構築を進める。</p> <p>また、長期入院患者の地域生活の移行や、入院後の早期退院の促進に伴う基盤整備量を勘案して、障害福祉サービス等の充実を図る。</p> <p>実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築</td> <td>構築</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	①精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築	構築																																																													
	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度																																																																				
①精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築	構築																																																																							
主な活動指標	<p>○活動指標等の一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">活動指標</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">①保健・医療・福祉関係者による協議の場</td> <td rowspan="2">開催回数</td> <td>見込</td> <td>15回</td> <td>15回</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>16回</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">参加者数</td> <td>見込</td> <td>40人</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>61人</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">目標設定</td> <td>見込</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1回</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">評価</td> <td>見込</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②精神障害者の地域移行支援利用者数(月平均)</td> <td>見込</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td>2.6人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③精神障害者の地域定着支援利用者数(月平均)</td> <td>見込</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td>2.7人</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">④精神障害者の共同生活援助利用者数(市内・市外グループホーム)(年度末月)</td> <td>見込</td> <td>45人</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>58人</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑤精神障害者の自立生活援助利用者数(年度末月)</td> <td>見込</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>3人</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">⑥精神障害者の自立訓練(生活訓練)利用者数(年度末月)</td> <td>見込</td> <td>35人</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>25人</td> <td>37人</td> </tr> </tbody> </table>	活動指標		令和6年度	令和7年度	令和8年度	①保健・医療・福祉関係者による協議の場	開催回数	見込	15回	15回	実績	16回		参加者数	見込	40人	40人	実績	61人		目標設定	見込	1回	1回	実績	1回		評価	見込	1回	1回	実績	1回		②精神障害者の地域移行支援利用者数(月平均)	見込	2人	2人		実績	2.6人		③精神障害者の地域定着支援利用者数(月平均)	見込	1人	1人		実績	2.7人		④精神障害者の共同生活援助利用者数(市内・市外グループホーム)(年度末月)	見込	45人	45人	実績	58人		⑤精神障害者の自立生活援助利用者数(年度末月)	見込	5人	5人	実績	3人		⑥精神障害者の自立訓練(生活訓練)利用者数(年度末月)	見込	35人	36人	実績	25人	37人
活動指標		令和6年度	令和7年度	令和8年度																																																																				
①保健・医療・福祉関係者による協議の場	開催回数	見込	15回	15回																																																																				
		実績	16回																																																																					
	参加者数	見込	40人	40人																																																																				
		実績	61人																																																																					
	目標設定	見込	1回	1回																																																																				
		実績	1回																																																																					
評価	見込	1回	1回																																																																					
	実績	1回																																																																						
②精神障害者の地域移行支援利用者数(月平均)	見込	2人	2人																																																																					
	実績	2.6人																																																																						
③精神障害者の地域定着支援利用者数(月平均)	見込	1人	1人																																																																					
	実績	2.7人																																																																						
④精神障害者の共同生活援助利用者数(市内・市外グループホーム)(年度末月)	見込	45人	45人																																																																					
	実績	58人																																																																						
⑤精神障害者の自立生活援助利用者数(年度末月)	見込	5人	5人																																																																					
	実績	3人																																																																						
⑥精神障害者の自立訓練(生活訓練)利用者数(年度末月)	見込	35人	36人																																																																					
	実績	25人	37人																																																																					
評価	<p>令和6年度は、長期入院者のうち、地域移行支援利用者1人と地域移行支援を利用しなかった5人が退院することが出来ました。精神保健福祉法改正により、医療保護入院の見直しにより、地域移行が進んだと考えられます。</p> <p>また、地域包括ケアシステムの協議の場では、市内の精神障害支援者や医療関係者と地域の課題の検討・共有を図りました。引き続き、支援者の人材育成及びネットワーク構築につとめ、連携が円滑に進められるようにしていくこと、さらに、精神障害等の課題を抱える方への相談体制の整備についても検討していきます。</p>																																																																							

<p>障害者施策 推進委員会 意見</p>	<p>精神障害者を受け入れる短期入所の事業所が不足している。地域移行のためには体験の場も必要のため、整備を進めてもらいたい。また、精神障害の方の中には家に人が入ることや、相談に向かうことが難しい場合もあるため、市の部署間で情報を共有できるようなシステムの検討も必要である。</p>
<p>自立支援 協議会意見</p>	<p>令和6年度の地域移行者の実績数6人は、長期入院患者の地域移行が進んでいることの数値として評価できるが、今後も継続できるように取り組む必要がある。また、精神障害を抱える方が地域で安定して生活できるよう、保健・医療・福祉関係者と有機的に連携し、体制づくりについて、引き続き検討してもらいたい。</p>
<p>改善策</p>	<p>精神障害者の地域移行を進めるために、体験の場となるサービス事業所等の体制整備等も含め、医療・保健・福祉の関係機関の連携体制の強化・体制づくりについて、協議を進めていきます。</p> <p>また、精神保健に課題を抱える方への相談が増えているため、庁内の重層的支援体制整備事業等との情報共有や、保健所等との関係機関との連携も図りながら、相談体制の整備について検討を進めてまいります。</p>

# 立川市第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画

## PDCAサイクル評価・改善管理シート

(令和6年度分)

成果目標 3		地域生活支援の充実																																		
計画 ↓ 実施	目標値	<p>①令和8年度末までにコーディネーターの配置等による効果的な支援体制及び緊急時の連絡体制を構築する。</p> <p>②地域生活支援拠点等の運用状況を検証・検討する。 年1回</p> <p>③令和8年度末までに強度行動障害を有する者に関する支援体制を整備する。</p> <p>【目標達成のための方策】 自立支援協議会において支援の実績等を踏まえた運用状況の検証及び検討を行うとともに、地域生活支援拠点等コーディネーターや拠点関係機関による会議を定期的開催し、機能の充実や支援体制等の構築を図っていきます。</p>																																		
	実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①コーディネーターの配置等による効果的な支援体制及び緊急時の連絡体制の構築</td> <td>構築</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②地域生活支援拠点等の運用状況の検証・検討</td> <td>1回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③強度行動障害を有する者に関する支援体制の整備</td> <td>未整備</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	①コーディネーターの配置等による効果的な支援体制及び緊急時の連絡体制の構築	構築			②地域生活支援拠点等の運用状況の検証・検討	1回			③強度行動障害を有する者に関する支援体制の整備	未整備																	
	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度																																
	①コーディネーターの配置等による効果的な支援体制及び緊急時の連絡体制の構築	構築																																		
②地域生活支援拠点等の運用状況の検証・検討	1回																																			
③強度行動障害を有する者に関する支援体制の整備	未整備																																			
主な活動指標	<p>○活動指標等の一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">活動指標</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①コーディネーターの配置人数</td> <td>見込</td> <td>8人</td> <td>8人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>4人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②自立支援協議会による検証・検討</td> <td>見込</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">③拠点関係機関の会議による検証・検討</td> <td>見込</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>12回</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				活動指標		令和6年度	令和7年度	令和8年度	①コーディネーターの配置人数	見込	8人	8人	8人	実績	4人			②自立支援協議会による検証・検討	見込	1回	1回	1回	実績	1回			③拠点関係機関の会議による検証・検討	見込	12回	12回	12回	実績	12回		
活動指標		令和6年度	令和7年度	令和8年度																																
①コーディネーターの配置人数	見込	8人	8人	8人																																
	実績	4人																																		
②自立支援協議会による検証・検討	見込	1回	1回	1回																																
	実績	1回																																		
③拠点関係機関の会議による検証・検討	見込	12回	12回	12回																																
	実績	12回																																		
評価	<p>令和6年度は、625件の継続相談の対応をしました。また、緊急一時保護利用者は3名となっております。介護者不在となった重度化・高齢化した障害者に対し、定期的な関わりにより、見守り体制が確保できましたが、サービス導入までに時間を要しました。</p> <p>市内短期入所事業所1か所が、拠点の機能を担う事業所として登録となりましたが、本事業は、地域全体で支えていく体制が必要であり、障害福祉サービス事業所への事業所の周知、機能を担う事業所への登録の働きかけを行っていきます。</p>																																			

<p>障害者施策 推進委員会 意見</p>	<p>地域生活支援拠点やコーディネーターについて、周知が進んでいないと思われる。地域生活を送る上で困った時に相談する先が、相談支援員や幼稚園の先生だった場合でも、最終的には地域生活支援拠点に繋がり、情報が集まるような仕組みを作っていただきたい。</p>
<p>自立支援 協議会意見</p>	<p>令和6年度は短期入所事業所1か所が新たな拠点の機能を事業所として登録され、地域生活支援拠点等の充実が図られたことは評価できる。一方で、障害者の重度化・高齢化・親亡き後については、市内の障害福祉サービス事業所の、本事業への協力等が不可欠であると思われる。引き続き地域全体で支えていく体制づくりに取り組んでもらいたい。</p>
<p>改善策</p>	<p>本事業のさらなる周知のため、引き続き、庁内や関係機関等への周知をはかり、緊急時の支援が見込めない障害者等に対しての相談先等として繋がっていくよう、引き続き努めていきます。</p> <p>また、本事業の推進には、市内障害福祉サービス事業者等の協力が不可欠のため、地域生活支援拠点等コーディネーターと連携し、事業周知とともに、地域全体の有機的な連携・支援体制について検討を進めていきます。</p>

# 立川市第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画

## PDCAサイクル評価・改善管理シート

(令和6年度分)

成果目標 4		福祉施設から一般就労への移行等																									
計画 ↓ 実施	目標値	①令和8年度中の一般就労移行者数 36人 ②令和8年度における就労移行支援事業利用終了者に占める一般就労移行者の割合が50%以上の事業所の割合 50% ③令和8年度における就労定着支援事業の利用者 46人 ④令和8年度における就労定着率70%以上の就労定着支援事業所の割合 25%  <b>【目標達成のための方策】</b> 一般就労への移行と就労後の定着のためには、就労と生活の両面を見据えた支援が必要なため、支援者のスキルアップや関係機関との連携を図っていきます。 また、就労継続支援等の工賃の向上に寄与するため、障害者就労施設等からの物品等の調達方針を定め、障害者就労施設等からの調達の推進を図ります。																									
	実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①一般就労移行者数</td> <td>43人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②就労移行支援事業利用終了者に占める一般就労移行者の割合が50%以上の事業所の割合</td> <td>73%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③就労定着支援事業の利用者(年度末月)</td> <td>31人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④就労定着率70%以上の就労定着支援事業所の割合</td> <td>20%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	①一般就労移行者数	43人			②就労移行支援事業利用終了者に占める一般就労移行者の割合が50%以上の事業所の割合	73%			③就労定着支援事業の利用者(年度末月)	31人			④就労定着率70%以上の就労定着支援事業所の割合	20%					
	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度																							
	①一般就労移行者数	43人																									
	②就労移行支援事業利用終了者に占める一般就労移行者の割合が50%以上の事業所の割合	73%																									
	③就労定着支援事業の利用者(年度末月)	31人																									
	④就労定着率70%以上の就労定着支援事業所の割合	20%																									
	主な活動指標	○活動指標等の一覧 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">活動指標</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①就労移行支援事業利用者数(年度末月)</td> <td>見込</td> <td>52人</td> <td>55人</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>68人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②障害者就労支援事業利用者数(年度末)</td> <td>見込</td> <td>280人</td> <td>290人</td> <td>300人</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>305人</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			活動指標		令和6年度	令和7年度	令和8年度	①就労移行支援事業利用者数(年度末月)	見込	52人	55人	58人	実績	68人			②障害者就労支援事業利用者数(年度末)	見込	280人	290人	300人	実績	305人		
	活動指標		令和6年度	令和7年度	令和8年度																						
	①就労移行支援事業利用者数(年度末月)	見込	52人	55人	58人																						
実績		68人																									
②障害者就労支援事業利用者数(年度末)	見込	280人	290人	300人																							
	実績	305人																									
評価	上記目標値(①36人、②50%)に対する令和6年度実績値は、①43人、②73%と高い数値となっています。また、③、④については目標値に対しては届いていません。 一般就労に移った後も、生活面の安定や将来のことなど広い視点を持ちながら、利用者本人、家族、支援者と継続的にコミュニケーションを図り、必要に応じて就労定着支援を利用していけるように取り組むことが重要と考えています。																										

障害者施策 推進委員会 意見	一般就労をしたが職場の理解がなく非常に傷ついている方もいて、福祉的な就労の場で心のケアも必要と思われる。少し休んでからまたチャレンジできるようなサポートもお願いしたい。
自立支援 協議会意見	一般就労への移行者数や障害者就労支援事業の利用者数について、見込みを超えていることは評価できる。しかし、就労定着支援の利用者等は目標に達していないため、関係者との連携を図り、引き続き就労定着に向け取り組んでもらいたい。
改善策	就労継続においては生活面の課題が影響する場面も多いため、就労支援と生活支援の連携を一層意識した支援のスキルアップをしていく一方で、就職後に支援を受けていないことで不安定となることがあるので、定着支援の必要性を発信し続けていきます。

# 立川市第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画

## PDCAサイクル評価・改善管理シート

(令和6年度分)

### 成果目標 5

### 障害児支援の提供体制の整備等

計画  
↓  
実施

目標値

- ①令和8年度末までに児童発達支援センターを設置する。
- ②令和8年度末までに障害児の地域社会への参加・包容(インクルージョン)を推進する体制を構築する。
- ③令和8年度末までに主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所を確保する。各2か所
- ④令和8年度末までに医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場を設置する。
- ⑤令和8年度末までに医療的ケア児に関するコーディネーターを配置する。

#### 【目標達成のための方策】

- ①児童発達支援センターについては、立川市第2次発達支援計画等に基づき、設置に向けて整備を行います。
- ②児童発達支援センターや当該センターで実施する保育所等訪問支援を活用しながら、障害児の地域社会への参加・包容(インクルージョン)を推進する体制を構築していきます。
- ③主に重症心身障害児を支援する事業所の確保については、事業所が参入しやすい方策を検討しながら、事業所への働きかけを行っていきます。
- ④医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場として、平成31年度に立川市医療的ケア児支援関係者会議を設置しました。引き続き、課題や情報の共有、関係機関の連携強化、支援策の検討などを行います。
- ⑤医療的ケア児に関するコーディネーターについては、立川市医療的ケア児支援関係者会議等の中で、コーディネーターの役割や職種、配置場所等の検討を行い、配置を進めていきます。

#### 実績

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度
①児童発達支援センターの設置	未設置		
②障害児の地域社会への参加・包容(インクルージョン)を推進する体制の構築	検討		
③主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所の確保	1か所		
主に重症心身障害児を支援する放課後等デイサービス事業所の確保	1か所		
④医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置	設置		
⑤医療的ケア児に関するコーディネーターの配置	未配置		

	主な活動指標	○活動指標等の一覧				
		活動指標	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	主な活動指標	①児童発達支援の利用者数 (年度末月)	見込	270人	280人	290人
			実績	281人		
		②放課後等デイサービスの利用者数(年度末月)	見込	560人	580人	600人
			実績	586人		
		③保育所等訪問支援の利用者数(年度末月)	見込	30人	40人	50人
			実績	28人		
		④医療的ケア児に関するコーディネーターの配置人数	見込	0人	2人	2人
			実績	0人		
評価	<p>児童発達支援センターについては「立川市第4次長期総合計画後期基本計画」及び「立川市第2次発達支援計画」に基づき、令和7年度設置に向けて整備を行っています。</p> <p>保育所等訪問支援は児童発達支援センターで実施予定であり、児童発達支援センターの設置と合わせて体制を整備していく予定です。</p> <p>主に重症心身障害児や医療的ケア児を支援する放課後等デイサービスについては、令和3年度に民間事業所を1か所確保し、法人が変わり、市内移転しましたが、令和6年度末で高校卒業した医療的ケア児の受け入れ先がなかったため、放課後等デイサービスの延長を決定し、卒業後の受け入れ先の事業所の不足が、課題となっております。</p> <p>医療的ケア児に関するコーディネーターについては、引き続き、医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場において、コーディネーターの役割やあり方を検討した上で、令和7年度配置に向けて整備を行っています。</p>					
障害者施策推進委員会意見	<p>障害を持つ子どもが成人となることで、支援が受けづらくなる問題がクローズアップされている。子ども時代には目が届いているが、成人になった後のフォローをどうするかについても、ぜひ検討いただきたい。</p>					
自立支援協議会意見	<p>児童発達支援センター及び医療的ケア児に関するコーディネーターについて、令和7年度設置の検討が進められており、設置後には途切れのない支援を行えるよう、相談機能の充実に向け取り組んでもらいたい。</p>					
改善策	<p>保育所等訪問支援は児童発達支援センターで実施予定であり、児童発達支援センターの設置と合わせて体制整備を進めます。</p> <p>医療的ケア児等支援の充実のため、医療的ケア児支援関係者会議において、医療的ケア児等コーディネーターの配置に向けた体制整備を進めます。18歳以上の医療的ケアのある方や重症心身障害者を対象とした放課後等デイサービス事業所に通っている方の、卒業後に通うことができる事業所の創設を目指します。</p>					

# 立川市第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画

## PDCAサイクル評価・改善管理シート

(令和6年度分)

成果目標 6		相談支援体制の充実・強化等																		
計画 ↓ 実施	目標値	<p>①令和8年度末までに基幹相談支援センターを設置する。 ②令和8年度末までに協議会における個別事例の検討を通じた地域サービス基盤の開発・改善等を行う取組を実施する。 ③令和8年度末までに協議会の体制を確保する。</p> <p>【目標達成のための方策】 自立支援協議会において、基幹相談支援センターの設置や地域の実情に応じたサービス基盤の開発・改善等の取組について協議していきます。 また、自立支援協議会相談支援専門部会や相談支援事業所連絡会の実施により、連携の強化を図り、相談支援事業の従事者の確保やスキルアップ等に取り組みます。</p> <p>実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①基幹相談支援センターの設置</td> <td>未設置</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②協議会における個別事例の検討を通じた地域サービス基盤の開発・改善等を行う取組の実施</td> <td>実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③協議会の体制の確保</td> <td>確保</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	①基幹相談支援センターの設置	未設置			②協議会における個別事例の検討を通じた地域サービス基盤の開発・改善等を行う取組の実施	実施			③協議会の体制の確保	確保		
	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度																
	①基幹相談支援センターの設置	未設置																		
	②協議会における個別事例の検討を通じた地域サービス基盤の開発・改善等を行う取組の実施	実施																		
	③協議会の体制の確保	確保																		
	主な活動指標	○活動指標等の一覧																		
		活動指標	令和6年度	令和7年度	令和8年度															
		①基幹相談支援センターの設置に向けた検討	見込	検討	設置	設置														
			実績	検討																
		②基幹相談支援センターにおける主任相談支援専門員の配置数	見込	0人	1人	1人														
	実績		0人																	
	③協議会における事例検討実施回数及び協議会参加人数	見込	1回 25人	1回 25人	1回 25人															
		実績	3回 67人																	
	④協議会における専門部会の設置数及び実施回数	見込	4か所 16回	4か所 16回	4か所 16回															
		実績	4か所 17回																	

<p>評価</p>	<p>現在、市内3か所の委託の相談機関と連携し、障害者のさまざまな相談にあたっています。障害者の重度化・高齢化・多様化したニーズに対応するために、サービス移行に伴う課題を抽出し、高齢分野のケアマネジャーとのグループワーク等を通じ、連携・ネットワークのあり方について深めることができました。</p> <p>障害者総合支援法改正に伴い、相談支援機関を支える基幹相談支援センター設置について、令和7年度に設置することを決めました。</p>
<p>障害者施策推進委員会意見</p>	<p>相談支援事業所の相談支援員が持つ情報量に、差が生じているように感じる。相談支援員間で差があると相談先が偏ってしまうため、基幹相談支援センターで情報をまとめて標準化していただきたい。また、地域のニーズに応えるような研修を検討いただきたい。</p>
<p>自立支援協議会意見</p>	<p>協議会における事例検討実施回数及び協議会参加人数について、見込みを超えており、地域サービス基盤の開発・改善に向け検討が進められていることは評価できる。次年度に、基幹相談支援センターの設置を予定しているため、地域の相談支援体制のより一層の充実に向け取り組んでもらいたい。</p>
<p>改善策</p>	<p>地域における相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センターは、令和7年度中の設置を目標とし、準備・協議を進めていきます。</p> <p>基幹相談支援センターの設置にあたっては、相談支援専門員へのスキルアップ・資質向上に向けた取り組み等の仕組みも、自立支援協議会相談支援部会や地域生活支援拠点等事業と連携し、協議を進めていきます。</p>

# 立川市第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画

## PDCAサイクル評価・改善管理シート

(令和6年度分)

成果目標 7		障害福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制の構築																									
計画 ↓ 実施	目標値	<p>①令和8年度末までに障害福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制を構築する。</p> <p>【目標達成のための方策】 東京都や心身障害者福祉センター等が実施する各種研修を引き続き活用し、障害福祉サービスの適切な提供に必要な知識を理解・習得していきます。 また、毎月の国保連の審査結果をもとに、過誤の請求について事業者の説明の上、修正を求めるとともに、事業者との連絡会等において報酬改定や誤りやすいケース等について周知し、適正な運営の確保に努めます。</p> <p>実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①障害福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制構築</td> <td>構築</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	①障害福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制構築	構築																
	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度																							
①障害福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制構築	構築																										
主な活動指標	<p>○活動指標等の一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">活動指標</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①東京都の実施する研修への市職員の延べ参加者数</td> <td>見込</td> <td>40人</td> <td>40人</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>43人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②審査支払等システムの審査結果を分析してその結果を活用し、事業者等と共有する回数</td> <td>見込</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>12回</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				活動指標		令和6年度	令和7年度	令和8年度	①東京都の実施する研修への市職員の延べ参加者数	見込	40人	40人	40人	実績	43人			②審査支払等システムの審査結果を分析してその結果を活用し、事業者等と共有する回数	見込	12回	12回	12回	実績	12回		
活動指標		令和6年度	令和7年度	令和8年度																							
①東京都の実施する研修への市職員の延べ参加者数	見込	40人	40人	40人																							
	実績	43人																									
②審査支払等システムの審査結果を分析してその結果を活用し、事業者等と共有する回数	見込	12回	12回	12回																							
	実績	12回																									
評価	<p>利用者や家族、支援者に複雑な障害福祉サービスの制度を正しく理解していただき、自らの意思で選択してもらうには、説明する側の資質の向上が不可欠です。活動指標①の見込みに対する実績は上回る結果となりましたが、今後も様々な学びの場を活用し、知識の蓄積と共有に努め、市職員の資質向上を継続的に図っていく必要があります。</p> <p>また、障害福祉サービス提供事業者に対しても、障害福祉サービスの正しい理解と適切なサービス提供体制の構築、適切な事業運営のために、障害福祉サービス第三者評価を積極的に受けていただくことや、事業所内研修の開催及び外部研修の積極的受講を促していく必要があります。</p>																										
障害者施策推進委員会意見	<p>児童福祉法改正等で子どもアドボカシーが注目され、子どもの意見や考えを尊重することが求められている。これからは障害がある子どもの声も含め、障害当事者の声を行政がよく聞くことが重要である。</p>																										
自立支援協議会意見	<p>市職員の各種研修受講や障害福祉サービス提供事業者との過誤の請求共有回数について、見込を超えていることは評価できる。人材の育成やサービスの質向上のために、引き続き取り組んでほしい。</p>																										

改善策	<p>複雑な障害福祉サービスの制度を説明する側の市職員については、引き続き東京都や心身障害者福祉センター等の実施する各種研修の機会をとらえ、市職員個々の障害福祉サービスの適切な説明に必要な知識を蓄積するとともに、障害福祉課内で行われる職員会議等で蓄積した知識を職員全体に共有する取り組みを継続します。</p> <p>また、障害福祉サービスを利用している方が転入出する際の自治体間連携については、その方の不利益とならないよう努めるとともに、各種事業所連絡会や虐待防止研修等を機会とした事業所間交流や情報共有を促して知識やノウハウの蓄積を図り、毎月の国保連請求審査や第三者評価の受審により障害福祉サービス等の質を向上させる取り組みを進めます。</p>
-----	---